問合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報監理課長　三宅武治
TEL 098-876-0118　（内線 2510）

第十一管区海上保安本部
平成１９年３月２３日

県内海岸の環境脆弱性指標図を提供開始

～油による海岸の環境被害防止に備える～

沖縄県内の海岸線の種類や油による環境被害の受けやすさなどがひと目でわかる、「環境脆弱性指標図」を本日よりインターネットで提供します。
本図は海岸の油防除作業に活用されるほか、砂浜、珊瑚礁の分布を知るためなど、多目的に利用することができます。

掲載情報

海岸線の環境脆弱性指標（石垣島、宮古島などは未記載）、珊瑚礁、藻場、湿地、マングローブ、油防除のための勢力（油回収船、油回収ネット、オイルフェンスなど）、油保管施設、漁業権区域、港湾、マリーナ、取水施設など。

環境脆弱性指標とは

海岸線を各性状（開放性・閉鎖性、岩場・砂浜、干潟、植生など）に応じ、油が漂着した場合の自然浄化能力や除去作業の困難性といった、油汚染の影響の受けやすさから、１０段階の数値にランク分けしたものです。

この指標の数値が大きいほど、油汚染の影響を受けやすくなります。

インターネットの掲載場所

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/index.html

備考

① 本図は海上保安庁が、インターネットで提供している沿岸海域環境保全情報（提供サービス名：Ceis Net）のデータを基に作成しています。
沿岸海域環境保全情報は、油流出事故が環境に与える影響を迅速に把握・評価し、的確な油防除活動を講じるための情報です。

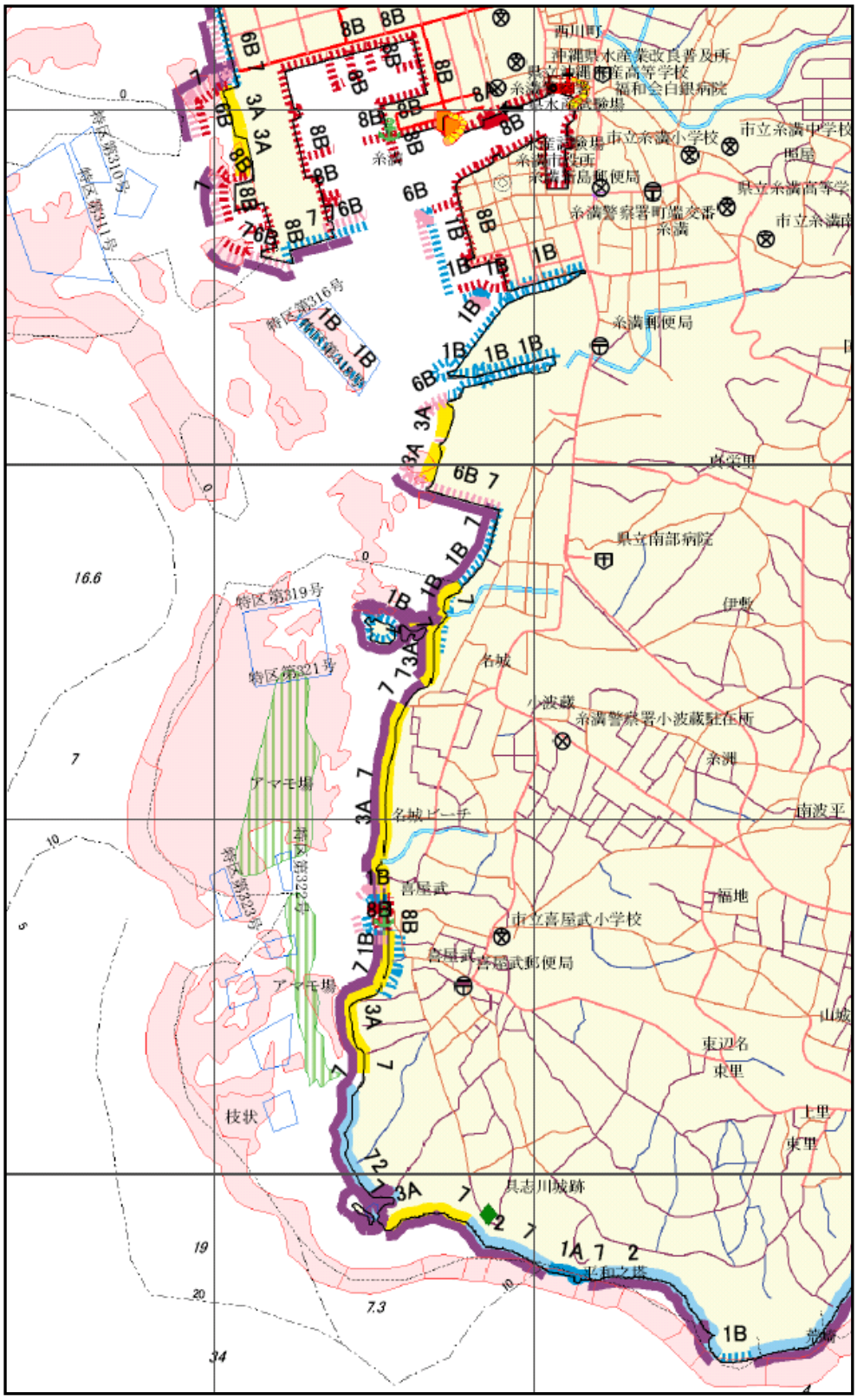
② 地域により環境脆弱性指標や自然情報など、データをチェック中のため、一部データが記載されていない図がありますが、情報が確認され次第、順次図を更新していきます。

環境脆弱性指標（ESI）数値と海岸線種類

（ESI：Environmental Sensitivity Index）

分類	ESI数値	線色	海岸線の種類
1	1A		開放性海域岩海岸
	1B		開放性海域人工構造物
2	2		開放性海域波食性台状地
3	3A		細粒から中粒の砂浜
	3B		砂の急斜面
4	4		粗い粒の砂浜
5	5		砂礫混合浜
6	6A		礫浜
	6B		捨て石状海岸
7	7		開放性海域干出平坦地
8	8A		遮蔽性海域の礫と急斜面
	8B		遮蔽性海域人工構造物
9	9A		遮蔽性海域干出平坦地
	9B		植生土手
10	10A		塩水性及び半塩水性草性湿地
	10B		淡水性草性湿地
	10C		淡水性草木性湿地
	10D		低木性湿地

シンボルマーク一覧

	ウミガメ産卵地		資機材等保有状況		本庁本部等		湿地
	海獣類生息地		オイルフェンス展張艇		保安部署等		藻場分布
	鳥類		グラブ船等		航空基地		ラムサール条約登録湿地
	港湾		作業船		統制通信事務所等		干潟分布
	港則法適用港		タグボート		水路観測所		国定公園
	漁港		タンクローリー車		航路標識事務所等		国立公園
	発電所		油回収船		海上交通センター		珊瑚礁分布
	取水口		油回収装置		学校		マングローブ
	マリーナ		高粘度油回収ネット		海岸利用産業施設		共同漁業権
	海水浴場		強力吸引車		天然記念物		区画漁業権
	潮干狩り場		集油船		名勝		定置漁業権
	海中公園		廃油処理施設		史跡		港湾区域、港則法区域、漁港区域、港則法航路、海交法航路、米軍演習区域（出力の毎に色は変わります）
	油保管施設		係留施設		港湾状況写真		

環境脆弱性指標図（沖縄島－１）の部分